

団体名 渡嘉敷村立渡嘉敷小学校	連絡先 TEL : 098-987-2244 Eメール : tokachu@oki-tokashiki.jp
--------------------------------------	---

1 実践事項 特色ある取り組み

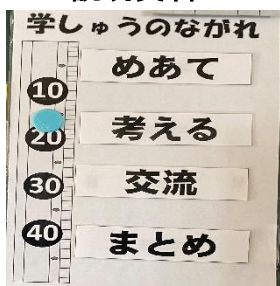
- (1) 児童が学習の流れを意識する「時間のものさし」の活用
- (2) 「一人一公開授業」で校内研修の主題「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
- (3) キャリア教育の「か・ふ・や・み」を意識した学校行事の取り組み

タイトル：「児童が“15の春の旅立ち”に向けた、主体的・対話的に学ぶ取組」

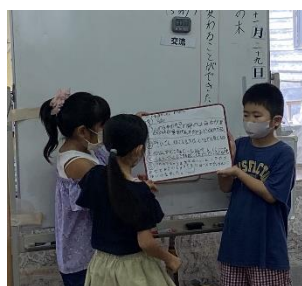
2 実践内容

- (1) 児童が学習の流れを意識する「時間のものさし」の活用
 - ・本校の「渡嘉敷小中学校グランドデザイン」から、児童生徒が毎時間の学習の流れを視覚的にとらえることで、学習のタイムマネジメントを意識し、学習に集中することをねらいとして取り組んでいる。また、教師も45分完結授業を計画的に取り組むことができる。
- (2) 「一人一公開授業」で校内研修の主題「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
 - ・小中併置校の利点を生かした全職員参観による「一人一公開授業」を実施している。
 - ・校内研修では、全教諭が教科における見方・考え方を意識した公開授業を実施し、児童が主体的に学ぶための問いの工夫や「めあて」の設定、「めあて」に正対した「まとめ」・「振り返り」の実施に取り組んでいる。
 - ・教師が毎時の授業実践の中で全ての児童に「インプット」や「アウトプット」の場面設定を計画的に行うことで、深い学びにつなげている。
- (3) キャリア教育の「か・ふ・や・み」を意識した学校行事の取り組み
 - ・学校行事を取り組む際に、この行事で自分の“何を育てたいのか”を「か・ふ・や・み」の4つの中から選ばせ、目標を具体化させて取り組んでいる。
 - ・学校行事が終わったら、キャリアパスポートを活用して、自分の立てた目標について振り返らせ、今後の自分自身の成長や課題の改善に結びつかせている。

3 説明資料



【時間のものさし】



【インプット・アウトプット
を意識した授業改善】



【キャリア教育の4つの視点
で区分けした学校行事】



【「か・ふ・や・み」の4つの
視点を可視化した掲示物】

4 成果

- (1) 学習の流れを明確にすることで、自分たちで次の学習へ主体的に行動できる児童が増えた。
- (2) 小中学校が互いに授業を見せ合うことで、発達段階に応じた授業改善を意識することができた。また、「主体的・対話的な深い学び」を、どのような展開で行えばよいのか、教師一人ひとりが課題を見付け、改善につなげようと意識することができた。
- (3) キャリア教育の4つの視点を示すことで、教師が児童の育てたい力を意識することができた。

5 課題

- (1) 複式学級などでは、45分授業の中で同時に2学年分の学習の指導にあたり、「時間のものさし」をうまく活用できないこともあったので、活用法を改善していく。
- (2) 学校行事が続いたときに、キャリア教育の視点に基づいた振り返り時間の確保が十分でなかった。